

その他

指標でみる大津市

◆人口

人	口	(令和2年4月1日)	343,550 人	
面	積	(令和2年10月1日)	464.51 km ²	
世	帯	数	(令和2年4月1日)	150,703 世帯
幼年人口 (14歳以下)		(//)	13.56 %	
高齢人口 (65歳以上)		(//)	26.54 %	
合計特殊出生率		(平成31・令和元年)	1.39	
人口増加率		(平成31年度)	0.25 %	
粗出生率		(//)	0.73 %	
粗死亡率		(//)	0.92 %	
夜間人口	国勢調査	(平成27年10月1日)	340,973 人	
昼間人口	//	(//)	310,543 人	
人口集中地区人口	//	(//)	268,627 人	

◆道路

道路	延	長	(令和2年3月31日)	1,862,301 m
舗装	延	長	(//)	1,742,399 m
舗	装	率	(//)	93.6 %
道路	面	積	(//)	10,821,167 m ²
舗装	面	積	(//)	10,283,621 m ²

◆下水道・電気

下水道処理区域面積		(令和2年3月31日)	5,640.8 ha
水洗化率		(//)	98.1 %
電灯需要口数		(平成28年3月31日)	192,791 口

◆産業

事業所数	経済センサス -活動調査	(平成28年6月1日)	11,367 事業所
従業者数	//	(//)	116,437 人
総農家数	農林業 センサス	(平成27年2月1日)	2,955 戸
製造事業所数(従業員4人以上)	工業統計調査	(令和元年6月1日)	209 事業所
商店数	経済センサス -活動調査	(平成28年6月1日)	2,458 店舗

◆消費生活

(勤労者世帯平均1ヶ月あたり)

可 処 分 所 得	(平成31・令和元年)	492,774 円
消 費 支 出	(//)	320,770 円
平 均 消 費 性 向	(//)	65.1 %
エ ン ゲ ル 係 数	(//)	24.3 %

◆教育・保育

国、県、市指定文化財	(令和2年10月1日)	541 件
市立図書館蔵書数	(令和2年3月31日)	824,187 冊
市立図書館利用者数	(平成31・令和元年度)	591,804 人
児童クラブ入所児童数	(令和2年4月1日)	4,049 人
保育所及び認定こども園入所児童数	(//)	8,179 人
待機児童数	(//)	4 人

◆財政

一般会計決算額	(平成31・令和元年度)	130,318,476 千円
1人当たり決算額	(令和2年3月31日)	379,329 円
財政力指数	(令和元年度)	0.823
経常収支比率	(//)	88.9 %

◆気象

年間平均気温	(平成31・令和元年)	15.7℃
年間最高気温	(令和元年8月9日)	35.9℃
年間最低気温	(平成31年1月26日)	-0.8℃
年間降水量	(平成31・令和元年)	1,371.5 mm

◆その他

行政区域(小学校区)	(令和2年5月1日)	37
自治会数	(令和2年4月1日)	720
市職員数	(//)	2,245 人

将来推計人口

(単位:人)

年齢区分	西暦 2025年	2030	2035	2040	2045	2050	2055
0～4	13,328	13,305	13,255	13,209	13,686	14,086	13,469
5～9	14,474	13,864	13,840	13,789	13,742	14,238	14,653
10～14	16,414	14,700	14,081	14,057	14,005	13,957	14,461
15～19	16,703	16,427	14,711	14,093	14,068	14,017	13,969
20～24	17,303	16,703	16,429	14,714	14,096	14,071	14,019
25～29	15,490	15,307	14,779	14,532	13,018	12,470	12,448
30～34	14,416	15,054	14,878	14,365	14,126	12,654	12,122
35～39	17,314	14,687	15,340	15,160	14,639	14,396	12,895
40～44	20,606	17,597	14,927	15,594	15,412	14,882	14,636
45～49	23,922	20,597	17,592	14,926	15,595	15,414	14,884
50～54	27,879	23,811	20,507	17,520	14,868	15,534	15,353
55～59	23,573	27,659	23,634	20,359	17,396	14,765	15,425
60～64	21,742	23,296	27,346	23,382	20,148	17,215	14,614
65～69	19,827	21,350	22,902	26,904	23,022	19,837	16,947
70～74	21,238	19,086	20,583	22,111	26,000	22,253	19,171
75～79	22,560	19,720	17,788	19,235	20,718	24,354	20,853
80～84	16,014	19,921	17,535	15,930	17,312	18,654	21,912
85～89	9,850	12,698	16,025	14,264	13,111	14,233	15,347
90～	7,417	9,060	11,624	15,032	16,195	16,215	16,842
合 計	340,070	334,842	327,776	319,176	311,157	303,245	294,020

区分	西暦 2025年	2030	2035	2040	2045	2050	2055
総人口指数	99.43	97.90	95.83	93.32	90.97	88.66	85.96
年少人口 割合(%)	13.0	12.5	12.6	12.9	13.3	13.9	14.5
生産年齢人口 割合(%)	58.5	57.1	55.0	51.6	49.3	48.0	47.7
老年人口 割合(%)	28.5	30.4	32.5	35.6	37.4	38.1	37.8
75歳以上人口 割合(%)	16.4	18.3	19.2	20.2	21.6	24.2	25.5

(注) 1. コーホート要因法にて推計している。

(資料: 政策調整部企画調整課)

2. 年少人口(0～14歳人口)

生産年齢人口(15歳～64歳人口)

老年人口(65歳以上人口)

3. 総人口指数の基準年は、2015年を基準としている。

日本百選

名 称	場 所 等	内 容
音響家を選ぶ 優良ホール	びわ湖ホール	一般社団法人日本音響家協会が選定(音響家からみた使いやすいホールを称賛する目的で設けられた)
都市景観	大津湖岸 なぎさ公園地区	国土交通省(都市景観対象審査委員会)が1991年~2000年間に選定(高いデザイン水準)
近代水道	柳が崎浄水場	当時の厚生省が1985年に選定
新日本旅行地	琵琶湖、比叡山	日本交通公社が発刊する「旅」の創刊40周年を記念して1966年11月号で発表
日本の地質	石山寺珪灰石	特定非営利活動法人地質情報整備・活用機構と社団法人全国地質調査業協会連合会が2007年と2009年に選定(地質学的にみた日本の貴重な自然資源)
夜景	比叡山 ドライブウェイ	夜景倶楽部の有志によって組織された非営利団体「新日本三大夜景・夜景100選事務局」が2004年に選定
ふるさと いきものの里	石山源氏堂	環境庁自然保護局・ふるさといきものの里検討会が1989年に選定
日本百名橋	瀬田唐橋 大宮橋	橋梁工学の専門家である大阪市都市工学情報センター理事長の松村博が私選(著書の『日本百名橋』(1998年)において発表)
日本都市公園	湖岸緑地	緑の文明学会と社団法人日本公園緑地協会が1989年に選定(公園に対する愛護の精神を高め、整備を推進するため)
日本の道	瀬田の唐橋 琵琶湖岸道路 道大津草津線	建設省と「道の日」実行委員会が道の日の制定を記念して1986年度及び1987年度に選定(日本の特色ある優れた道)
日本の白砂青松	雄松崎	社団法人日本の松の緑を守る会が選定(美しい松原をともなった海岸・砂浜)
日本の歴史公園	膳所城跡 柳が崎湖畔公園	都市公園法施行50周年等記念事業実行委員会によって選定
かおり風景	比叡山延暦寺の 杉と香	環境省が日本各地の自然や生活、文化に根ざした香りのある地域を全国から募集し、応募された600件の中から2001年に選定
水源の森	比叡山の森林	林野庁が1995年に選定
日本の音風景	三井の晩鐘	環境庁が1996年に「将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境」を公募し、保全する上で特に意義があると認められるところを選定

おおつ自慢

■(旧)逢坂山トンネル……………日本最初の日本人の手だけで掘られた鉄道トンネル(1880年)

逢坂一丁目の国道沿いにある。京都・大津間に鉄道が開通した明治13年(1880)に完成。全長664メートル。当時鉄道の敷設には英国人が指導していたが、このトンネルは日本人のみの手で施工された日本最初のものとして、鉄道記念物になっている。大正10年(1921)東海道線の路線変更により廃止。

■比叡山坂本ケーブル……………日本最長のケーブルカー(2,025m)

石積みのある門前町坂本と、世界文化遺産である比叡山延暦寺の表参道として昭和2年(1927)に敷設された坂本ケーブル。登録有形文化財に選定されたケーブル坂本駅とケーブル延暦寺駅間、日本最長の2025mを11分で結ぶ、パノラマワイドな窓をもつヨーロッパ調の車両「緑号」「福号」が人気を博しています。途中、ケーブルカーには珍しい途中駅2か所や、橋梁7か所、トンネル2か所と変化に富む車窓からは、登るにつれて素晴らしい琵琶湖の景観が大きく広がります。

■粟津貝塚……………世界最大の淡水貝塚(縄文時代)

遺跡は、琵琶湖の最南端、琵琶湖が瀬田川に名を変える付近の水深2～3mの湖底にあります。昭和27年(1952)に地元の漁師が湖底から獣(けもの)の骨等を引き上げたのをきっかけに遺跡の存在が明らかとなりました。平成2年度から行われた発掘調査は、湖中を鋼矢板(こうやいた)で仕切って水を抜いて行いました。調査の結果、縄文時代早期(約10,000年前)の川の跡からクリを始めとする大量の植物体や、縄文時代中期(約5,000年前)の貝塚等が見つかりました。見つかった貝塚はセタシジミを中心としたもので、淡水の貝塚としては日本最大の規模です。また、貝に混じって大量の木の実などの植物体も見つっています。陸上の遺跡では風化してしまうのですが、琵琶湖の水に守られ、今まで残っていました。

■石山寺多宝塔……………日本最古の多宝塔(1194年)

石山寺の多宝塔は、源頼朝公による寄進と伝えられ、下層の須弥壇上框裏面の墨書により建久5年(1194)に建立されたことが判明しております。建築年代が明確なものは日本最古の多宝塔であり、鎌倉時代の当初の形を保つ遺構として貴重です。明治34年(1901)古社寺保護法により特別保護建造物に指定され、昭和4年(1929)国宝保存法により国宝、同25年(1950)文化財保護法の施行により重要文化財と改称され、翌年には国宝に指定されております。なお、内部に安置される本尊は快慶作大日如来坐像(重要文化財)、内部の四天柱には密教の教義に基づいた54体の尊像が描かれ、重要文化財に指定されております。

■漏刻(水時計)……………日本最初の時計(671年)

始めて漏刻を新しい台に設置して鐘鼓を鳴らして時を告げたとの日本書紀の記述が、日本における最古の時報の記録となります。太陽暦に直すと西暦671年6月10日となりますので、大正9年(1920)にこの日を「時の記念日」と決めました。天智天皇を祀る近江神宮では毎年この日に漏刻祭が行われています。漏刻とは、水時計のことで、水が一定の速度で水海とよばれる壺に貯まり、水海の水位から時刻を測る時計のことで、水の流入速度が一定になるように、夜天池、日天池、平壺、萬分壺の四個の壺を経て水海に流入し、水海の前が浮上して人形が指差すところによって時刻がわかる仕組みです。

■大津算盤……………日本最初のそろばん(1612年)

慶長17年(1612)に追分の住人片岡庄兵衛が長崎奉行長谷川左衛藤広に随行し長崎に行った。片岡は同地で明人からそろばんの見本と使い方を習い、帰郷後に研究を重ね、日本人に適した形に改良した。その後江戸幕府から「御本丸勘定方御用調達」に任命され算盤の家元となり、制作方法の伝授・価格の決定等を一任された。明治に至るまでの300年間その名をとどろかせたが、明治になって鉄道開通に伴う立ち退き等の影響を受け、廃れた。現代において生産高8割を占める播州そろばんは、天正年間の三木城落城に際して大津に避難してきた人々が、技術を習得し持ち帰ったものである。

都市宣言

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1 大津国際文化観光都市建設に関する決議 | 昭和33年3月11日 |
| 2 公明選挙都市宣言に関する決議 | 昭和38年3月22日 |
| 3 勤労環境整備健康都市宣言に関する決議 | 昭和39年11月7日 |
| 4 交通安全都市宣言 | 昭和40年9月30日 |
| 5 青少年健全育成都市宣言 | 昭和41年6月18日 |
| 6 世界連邦平和都市宣言に関する決議 | 昭和44年3月20日 |
| 7 ふるさと都市宣言に関する決議 | 昭和58年9月20日 |
| 8 「ふるさと都市大津」恒久平和都市宣言に関する決議 | 昭和62年6月17日 |
| 9 交通安全教育都市宣言に関する決議 | 昭和62年6月17日 |
| 10 人が輝く男女共同参画都市宣言に関する決議 | 平成10年9月22日 |

姉妹都市

- | | | |
|-----------|-------------------|--------------|
| ランシング市 | (アメリカ合衆国・ミシガン州) | 昭和44年10月1日提携 |
| インターラーケン市 | (スイス連邦・ベルン州) | 昭和53年10月1日提携 |
| ヴェルツブルク市 | (ドイツ連邦共和国・バイエルン州) | 昭和54年2月13日提携 |
| 亀尾市(くみし) | (大韓民国・慶尚北道) | 平成2年4月12日提携 |

友好都市

- | | | |
|------------------|----------------|--------------|
| 牡丹江市
(ぼたんこうし) | (中華人民共和国・黒龍江省) | 昭和59年12月3日提携 |
|------------------|----------------|--------------|



職員数

—各年4月1日現在— (単位:人)

部 門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
	平成31年	令和2年			
一般行政	議 会	16	16	0	
	総 務	330	333	3	国勢調査への対応
	税 務	95	95	0	
	労 働	3	2	△1	
	農 林 水 産	26	27	1	
	商 工	29	27	△2	
	土 木	199	205	6	組織の再編
	小 計	698	705	7	
福祉関係	民 生	432	426	△6	退職不補充
	衛 生	247	236	△11	大津クリーンセンターの廃止 市民病院への派遣期間満了
	小 計	679	662	△17	
一 般 行 政 計	1,377	1,367	△10		
特別行政	教 育	288	292	4	
	消 防	318	317	△1	
	小 計	606	609	3	
公営企業等会計	水 道	88	85	△3	
	下 水 道	59	58	△1	
	そ の 他	128	126	△2	
	小 計	275	269	△6	
合 計	2,258	2,245	△13		

(注) 職員数は一般職に属する職員のうち、地方公務員の身分を有する休職者、派遣職員等を含み、任期付職員及び会計年度任用職員を除いています。

任期付職員の状況(各年4月1日現在)

区 分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	平成31年	令和2年		
任 期 付 職 員	0	110	110	制度を導入し、幼稚園、小・中学校の講師を任期付職員として採用

フルタイム会計年度任用職員の状況(各年4月1日現在)

区 分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	平成31年	令和2年		
フルタイム会計年度任用職員	0	214	214	地方公務員制度改正に伴う制度導入のため

大津市の統計情報「おおつ統計ナビ」について

◆「おおつ統計ナビ」とは…

大津市ホームページ内にある大津市の様々な統計データを集約した統計情報のページで、住民基本台帳による各種人口統計表や刊行している統計書、また市民の皆様にご協力をいただいた国勢調査や経済センサスなどの基幹統計調査の調査結果を掲載しています。

また、家計や小売物価など生活に密着した統計調査の結果も掲載しており、これまで以上に「統計調査」を身近なものに感じていただければと思っております。

◆掲載内容(令和3年3月末現在)

1. 住民基本台帳による各種人口統計表
2. 「統計年鑑」及び「おおつデータブック」に関するデータ
3. 主な統計調査結果
(国勢調査、経済センサス、住宅・土地統計調査、家計調査等)
4. 中核市比較統計年表
5. 統計調査のお知らせ

◆各項目詳細

1. 住民基本台帳による各種人口統計表

男女別・学区別人口統計表

内 容： 男女別の人口や世帯数を学区毎に掲載している。

更新時期： 毎月月上旬に更新

男女別・町丁別人口統計表

内 容： 男女別の人口や世帯数を町丁毎に掲載している。

更新時期： 毎年4月及び10月上旬に更新

年齢別・学区別人口統計表

内 容： 年齢別の人口を学区毎に掲載している。

(5歳毎、1歳毎、生産年齢毎)

更新時期： 毎月月上旬に更新

年齢別・町丁別人口統計表

内 容： 年齢別の人口を町丁毎に掲載している。(5歳毎)

更新時期： 毎年4月及び10月上旬に更新

学区別人口・世帯数の年別推移

内 容： 人口及び世帯数の推移を学区毎に掲載している。

(平成11年以降)

更新時期： 毎年4月上旬に更新

2. 「統計年鑑」・「おおつデータブック」に関するデータ

統計年鑑

内 容： 本市の人口・経済・社会・文化などの各分野にわたる基礎的な統計資料を総合的に収録した統計書を年別・カテゴリ別に掲載している。

(年 別) 平成18年以降の統計年鑑を年別に掲載

(カテゴリ別) 「人口・世帯数」「事業所」「教育・文化」「観光」など18種のカテゴリ別に直近5カ年分を掲載

更新時期：毎年4月頃

おおつデータブック

内 容： いつでもどこでも利用していただける携帯に便利なポケットサイズで各種統計情報をはじめ全国上位ランキング(大津市・滋賀県)や大津自慢などユニークな情報も取り入れた統計冊子

(年 別) 平成24年以降の「おおつデータブック」を年別に掲載

(カテゴリ別) 「人口」「産業」「健康・福祉」「交通」など13種のカテゴリ別に直近5カ年分を掲載

更新時期：毎年4月頃

3. 主な統計調査結果

各種統計調査結果のうち、大津市のデータを抜粋し、掲載している。

国勢調査

人口、世帯数、労働力状態、昼夜間人口など

経済センサス

全事業所の地域別、産業別、規模別での事業所数、従業者数など

住宅・土地統計調査

住宅の構造・タイプ、住宅・住環境に対する意識など

小売物価統計調査

消費生活上、重要な商品の小売価格、サービス料金、賃金など

人口動態調査

人口動態にかかる事象(出生、死亡、婚姻、離婚など)など

学校基本調査

学校、幼稚園の基本的な事項(学校数、生徒数、職員数など)など

全国家計構造調査

全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布など

家計調査

全国平均の家計収支など

4. 中核市比較統計年表

人口、福祉、産業、都市計画など様々な項目について、中核市の各都市を比較した統計表

(外部リンク) 中核市市長会 都市要覧

5. 統計調査のお知らせ

各種統計調査の実施予定や協力をお願い、統計書の刊行のお知らせなど

— MEMO —

年 齢 早 見 表

令和3年(2021年)用

生 年	西 暦	年 齢	生 年	西 暦	年 齢	生 年	西 暦	年 齢
明治 43	1910	111	昭和 22	1947	74	61	1986	35
44	1911	110	23	1948	73	62	1987	34
45	1912	109	24	1949	72	63	1988	33
大正 元	1912	109	25	1950	71	64	1989	32
2	1913	108	26	1951	70	平成 元	1989	32
3	1914	107	27	1952	69	2	1990	31
4	1915	106	28	1953	68	3	1991	30
5	1916	105	29	1954	67	4	1992	29
6	1917	104	30	1955	66	5	1993	28
7	1918	103	31	1956	65	6	1994	27
8	1919	102	32	1957	64	7	1995	26
9	1920	101	33	1958	63	8	1996	25
10	1921	100	34	1959	62	9	1997	24
11	1922	99	35	1960	61	10	1998	23
12	1923	98	36	1961	60	11	1999	22
13	1924	97	37	1962	59	12	2000	21
14	1925	96	38	1963	58	13	2001	20
15	1926	95	39	1964	57	14	2002	19
昭和 元	1926	95	40	1965	56	15	2003	18
2	1927	94	41	1966	55	16	2004	17
3	1928	93	42	1967	54	17	2005	16
4	1929	92	43	1968	53	18	2006	15
5	1930	91	44	1969	52	19	2007	14
6	1931	90	45	1970	51	20	2008	13
7	1932	89	46	1971	50	21	2009	12
8	1933	88	47	1972	49	22	2010	11
9	1934	87	48	1973	48	23	2011	10
10	1935	86	49	1974	47	24	2012	9
11	1936	85	50	1975	46	25	2013	8
12	1937	84	51	1976	45	26	2014	7
13	1938	83	52	1977	44	27	2015	6
14	1939	82	53	1978	43	28	2016	5
15	1940	81	54	1979	42	29	2017	4
16	1941	80	55	1980	41	30	2018	3
17	1942	79	56	1981	40	31	2019	2
18	1943	78	57	1982	39	令和 元	2019	2
19	1944	77	58	1983	38	2	2020	1
20	1945	76	59	1984	37	3	2021	0
21	1946	75	60	1985	36			

(注) 年齢は、誕生日以降の満年齢です。
誕生日前の年齢は「1」を引いてください。

おおつデータブック2021

編集・発行 大津市政策調整部
市 政 情 報 課

発 行 日 令和3年3月

大津市のホームページアドレス
<https://www.city.otsu.lg.jp/>